

令和元年11月実施

事業所名 児童発達支援 和こう

		チェック項目	はい	いいえ	わからない 無回答	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	35.0%	30.0%	35.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールや中庭で活動を行う際、スペースに対し児の人数が多く、安全に過ごすことが難しいと感じる時がある ・人数が多いとき、時間、場所を分けて活動するよう検討しているが、まだ行えていない ・児がたくさんホールで遊んでいる時など、コーナー遊びをセッティングし、安全に遊べるよう工夫している
	2	職員の配置数は適切であるか	20.0%	40.0%	40.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数に対しての配置数は適切かもしれないが、1対1での対応が必要な児が多いため、もう少し配置人数を必要だと思う ・時間帯により足りない時がある ・担当児が1日に3人以上になると個別対応や指導が難しいと感じる ・通常業務の他に、委員会・研修など、職員不在時に人手不足を感じるが、他部署の協力を得て対応をしている ・1対1で、ゆっくりコミュニケーションを図り関わりたいが、安全を確保することで精一杯なことがある
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	65.0%	10.0%	25.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに応じて、カードや提示物を用意し、物の理解の構造化に努めている ・担当児の対応に関して情報共有や話し合いの場を設けている ・検討課題があると、職員間で話し合い、個々に合わせた環境設定など、見直しをすることが多い ・個々に応じた環境設定を行っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	80.0%	10.0%	10.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・片付けに追われている状況であるが、一日の終わりには塩素で拭き掃除を行い、清潔を心がけている ・児の特性に応じて、過ごす時間や部屋を分けたりし、安楽・安全に留意している ・整理整頓が不十分な時もある
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	50.0%	5.0%	45.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・参画できるよう努力している
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	65.0%	10.0%	25.0%	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等に公開しているか	60.0%	5.0%	35.0%	

	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	45.0%	15.0%	40.0%	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	75.0%	10.0%	15.0%	<ul style="list-style-type: none"> •できるだけ多くの職員が研修に参加出来る様機会を確保している •研修の機会が少ない
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもの保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	65.0%	5.0%	30.0%	<ul style="list-style-type: none"> •保護者面談や日々の連絡帳を通じ、保護者のニーズや意見等を把握し、クラスの職員間で話し合いをし計画作成を行っている •アセスメントツールを作成中である
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	25.0%	15.0%	60.0%	<ul style="list-style-type: none"> •アセスメントツールを使用していない
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	55.0%	0.0%	45.0%	<ul style="list-style-type: none"> •一人ひとりの児の課題に合わせ、より具体的に目標・支援方法・内容を設定している •地域支援については具体的な支援がされていないので、これからの課題である
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	65.0%	0.0%	35.0%	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	60.0%	5.0%	50.0%	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	45.0%	5.0%	50.0%	<ul style="list-style-type: none"> •同じ活動でも内容を変えたりしながら子どもたちが期待をもって取り組めるよう配慮している •季節に応じた内容やねらいに沿った活動を工夫し、楽しんで参加できるよう立案している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	60.0%	0.0%	40.0%	
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	70.0%	0.0%	30.0%	<ul style="list-style-type: none"> •時々、不足である
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	65.0%	0.0%	35.0%	<ul style="list-style-type: none"> •活動後に、良かった点、改善点を話し合い、共有に努めている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	65.0%	0.0%	35.0%	
20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	65.0%	0.0%	35.0%		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	55.0%	0.0%	45.0%	

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	65.0%	0.0%	35.0%	
	23	(医療的ケアは必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	60.0%	0.0%	40.0%	
	24	(医療的ケアは必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	65.0%	0.0%	35.0%	・整えているが、不十分であると思う
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	70.0%	0.0%	30.0%	・訪問や電話等で情報を共有し、支援内容の確認をしている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	40.0%	10.0%	50.0%	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	35.0%	10.0%	55.0%	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	55.0%	0.0%	45.0%	・年に一度機会があるが十分とはいえない
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	30.0%	10.0%	60.0%	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	70.0%	0.0%	30.0%	・日々の連絡帳でのやりとりで行い、必要に応じ面談等を行っている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	30.0%	10.0%	60.0%	・保護者に対し、児の行動で家庭内でのトイレ誘導や、関わり方等、共に考え、支援を行っている ・個別では対応している ・ペアレントトレーニング実施に向け研修中である
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	60.0%	5.0%	35.0%	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	60.0%	0.0%	40.0%	

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	70.0%	0.0%	30.0%	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	60.0%	5.0%	35.0%	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	65.0%	0.0%	35.0%	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	75.0%	0.0%	25.0%	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	80.0%	0.0%	20.0%	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	75.0%	0.0%	25.0%	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	40.0%	5.0%	55.0%	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	50.0%	15.0%	35.0%	<ul style="list-style-type: none"> • 実際、災害が起こった場合、現在行っている避難訓練で対応できるか不安 • 保護者までは周知できていない
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	70.0%	10.0%	20.0%	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	90.0%	0.0%	10.0%	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	85.0%	5.0%	10.0%	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	85.0%	0.0%	15.0%	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	85.0%	0.0%	15.0%	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	75.0%	0.0%	25.0%	

アンケート配布人数 20 人 回収人数 20 人 回収率 100 %

《 今年度の振り返りと評価 》

①療育内容の充実を図ります

今年度は地域のこども園の園児との歌やダンスの交流会や、同法人施設の利用者の方と一緒に芋ほりに出かけるなどの交流を図ることができた。また、センター内でもハロウィンや餅つきなど季節の行事を通じて、入所の利用者の方と触れ合う機会を持つことができた。

そのほか、リハビリテーション課の協力のもと、運動遊びや見立て遊びなど専門性を活かした遊びの提供もでき、児個々に応じた遊びの展開を図ることができた。

②当事業所職員の質の向上を目指します

定期的な園内研修の他、個別では、相談支援・虐待・感染・ペアレントトレーニング等の研修に参加することができた。しかし、伝達研修が行えず、情報共有が不十分であった。また、アセスメントツールについては、サンプル等の収集は行えたものの、検討・作成までには至らなかった。

③当事業所で避難訓練を実施していきます

通所部門を中心とした防災委員会を立ち上げ、委員が中心となって防災マニュアルの見直しを行っているが、事業所単位での避難訓練には至らなかった。

《 今後に向けての改善目標 》

①地域交流の充実を図り、情報発信をきめ細やかにいきます

地域のこども園や各施設等と交流する機会を増やし、恒例行事として定着させていきます。また、写真や月間便りなどを通じて保護者の皆様に、より具体的に日々の活動を伝えられるようにします。

②療育の質及び職員の質の向上を目指します

各種研修会等への参加を積極的に行い、学んだことを日々の療育活動につなげられるよう、勉強会や伝達研修を実施し情報共有を図ります。また、アセスメントツールを用いてのケース検討を深め、個々に合わせた支援に活かしていきます。

③当事業所で避難訓練に向けて取り組みを継続します

防災マニュアルの再確認と整理、児のご家族への周知に向けて準備を進めていきます。また、事業所単位での非常災害を想定した避難訓練の準備及び実施に向けて進めていきます。